

平成26年度

第二期 事業報告書

平成26年4月 1日から

平成27年3月31日まで

公益財団法人 大阪交通災害遺族会

1. はじめに

1) 当会について

目的

この法人は、交通事故防止と交通災害遺族の支援及び交通遺児の健全育成に関する事業を行い、交通事故の防止と交通事故被害者の福祉増進に寄与することを目的としています。

事業

次の各事業を大阪府域において行います。

- ・交通事故を防止する啓発事業
- ・交通災害遺族の生活を支援する援護事業
- ・交通遺児の健全な育成を図る激励事業
- ・交通災害遺族及び交通遺児に対する援護資金及び奨学資金の貸与

会員数

登録会員数 2, 083人 (平成27年3月31日現在)

2) 平成26年の交通事故概況

事故件数：	大阪 42, 729件	全国 573, 842件
	(前年：46, 110件)	(前年：629, 021件)
死者数：	大阪 143人	全国 4, 373人
	(前年：179人)	(前年：4, 113人)
負傷者数：	大阪 51, 501人	全国 711, 374人
	(前年：55, 363人)	(前年：781, 494人)

2. 事業概要

公益財団法人の第二期は移行後初めて通期での活動となり、当会としての公益事業を一年間にわたり行うことができた。

事業は、計画に沿い交通事故防止と大阪府内在住で交通事故によりご家族を亡くされた、交通災害遺族・遺児に対する福祉増進をはかる事業を滞りなく実施しました。また、企業・団体の方々からの温かいご支援によるご招待も多数いただきました。法人運営の源となる寄付金は予算、前年実績ともに下回る現状ですが、ご支援くださる方々の数が前年を上回ったことに感謝しております。

今後も公益目的事業を誠実に実行し交通災害遺族・遺児の福祉増進に努めることが、支援くださる方々のお気持ちに叶うことであり、一層気を引き締め公益目的事業に取り組んでまいります。

尚、新しい公益活動として、10月に大阪府交通対策協議会（会長：松井一郎 大阪府知事）や府警本部が中心となり、自転車ヘルメットの着用を推進する「ひろメットチーム」「ひろメットチームS」への加盟が認定され、交通安全啓発事業（公1）の一環として取り組み始めました。

3. 主催事業

○公1 啓発事業（交通事故を防止する事業）

公1-1 第43回 交通事故物故者合同慰霊祭並びに感謝状贈呈式

5月17日（土）大阪社会福祉指導センター5階ホールで実施。参列者は127名と昨年より少し減ったが、感謝状贈呈者が15名参加くださった事は喜ぶべき事である。また、記念品を菓子として二回目になるが好評であり今後も続ける。今回も遺児の訴えでは朗読中に涙ぐむ列席者が見受けられ印象深い慰霊祭となった。

公1-2 交通安全ファミリーフェスティバル 秋の全国交通安全運動への参加

9月23日（祝）浜寺公園で開催された「2014 おおさか交通安全ファミリーフェスティバル」会場にブースを設置し交通安全を呼びかけ、当会から会員64名が参加した。会場で配布した傷バンソウコウやバルーンアートは好評で善意の箱の募金額は昨年より多かった。

公1-3 機関誌「パンジーだより」発行

隔月奇数月発行の機関誌を各号1,600部発行。誌面には事業の報告、寄付

者・支援者への感謝、支援の募集、交通安全啓発情報等を掲載し広報活動を行った。主な配布先は大阪府市庁関連部署、府下全市町村長、大阪府警察本部関連部署、府下全警察署、社会福祉協議会・福祉事務所等の福祉団体、ロータリークラブ、ライオンズクラブ、支援企業・団体、支援者、当会会員です。

○公2 援護事業（交通災害遺族の生活を支援する事業）

公2-1 手芸講習会

年二回開催のうち、6月15日（日）は作品テーマを「絵手紙または風水ふくろう」として17名が参加。また、11月30日（日）は作品テーマを「絵手紙または松ぼっくりのお正月飾り・松ぼっくりの羊」として13名が参加した。講習あとの茶話会は会話も弾み交流が図られ楽しい集まりとなった。

公2-2 親子コミュニケーション旅行

8月23日（土）滋賀方面『外輪船ミシガンで琵琶湖周遊と長浜黒壁スクエア散策』を開催し105名が参加。途中で雷雨に見舞われる天候となったが予定通り実施でき参加者は親子とも満足していた。今回から参加申込金2千円を返金せず経費の一部にしたが問題は無かった。

公2-3 パンジーの会交流会

平成27年2月21日（土）KKRホテル大阪で開催し70名が参加した。遺族が講演と懇親会で交流を図り互いに励まし合う催しで、今回の講師は高島幸次氏（大阪大学招聘教授）「三行半で読み直す女性の歴史」をテーマに講演くださった。会食は各テーブルとも賑やかな歓談となり参加者は満足し、同時に自転車ヘルメット着用啓発の一環として大阪府南警察署の警察官による説明と実演も行った。また、今回から参加申込金1千円を返金せず経費の一部にしたが問題は無かった。

公2-4 補償制度「安心ちゃん」

9月に18歳以下の遺児とその保護者を対象とし普通傷害や不慮の賠償責任など突然の出費に備える補償制度の加入者を募集。万が一に備える事業として生活を支援した。

○公3 激励事業（交通遺児の健全な育成を図る事業）

公3-1 BLパラダイス

4月20日（日）能勢妙見山で野外活動の飯ごうすいさんを実施。参加者は13名と昨年を下回ったが、保護者が同行せず子どもだけの参加が数名あり本プログラムの主旨「遺児の健全育成」に則することとなった。

公3-2 夏期訓練（キャンプ）

8月1日（金）～3日（日）15名が参加（保護者は参加できない）。天候が極端に悪く二日目以降は大雨の影響で道路が寸断され避難状態となったが、BLCリーダーと引率者の連携さらに現地スタッフの尽力により事なきを得た。結果的には普段体験出来ない夏期訓練となった。本事業には大阪府社会福祉協議会様の助成金と大阪厚生信用金庫様の基金よりご寄付をいただいた。

公3-3 第40回 クリスマスの集い

12月14日（日）大阪社会福祉指導センター5階ホールにて実施し66名が参加。今年もBLCリーダーによる「クリスマス縁日」を催し好評であった。また、雲雀丘学園高等学校IAC（社会奉仕）クラブの生徒が手伝ってくださり、より充実した内容となり、今後につながる経験で双方とも有意義であった。

公3-4 第20回新成人激励とお祝いの会

平成27年1月17日（土）大阪府社会福祉会館内会議室にて、新成人2名と保護者に理事を加え11名でのお祝い会を茶話会形式で開催した。遺児の成人を祝い保護者の労をねぎらう集まりで、花束贈呈や親子記念写真撮影を交えながら終始アットホームな雰囲気参加者は喜んでいった。

公3-5 第40回 新入学・卒業 激励会

平成27年3月15日（日）大阪府社会福祉会館内会議室にて、遺児の小中高校への入学と卒業を祝う激励会を実施。参加者は、中学校入学1名、高校入学6名、高校卒業8名、他に保護者と理事やBLCリーダーが参加し38名の激励会となった。

- 公4 育英事業(交通災害遺族及び交通遺児に対する援護資金及び奨学資金の貸与)
- 年度中の援護資金(緊急援護資金)の貸与は1件、返還は704,500円。奨学資金(交通遺児奨学資金・交通遺児入学準備金)の交通遺児奨学資金の貸与は20件、返還は3,369,500円。交通遺児入学準備金の貸与は1件、返還は355,500円であった。年度末に卒業生8名に奨学金一部免除を適応し総額1,248,000円となった。今期の貸与総額は4,840,000円。返還総額は4,429,500円で滞納者への督促と早期返還の促進により前年を上回る結果となった。

4. ご招待行事

- 大阪府警察本部様が7月12日(土)に「2014子どもけいさつフェア」へ子ども達と保護者10名をご招待くださった。
- 阪急阪神ホールディングス株式会社様が、10月16日(木)に「キッズニア甲子園プレミアムナイト」へ子ども達と保護者40名をご招待くださった。
- 一般社団法人大阪府トラック協会中央支部様が、10月19日(日)に「ふれあいトラックフェスタ2014」へ子ども達と保護者50名をご招待くださった。
- 大阪厚生信用金庫様が、11月30日(日)にプロバスケットボール「大阪エヴェッサ対琉球ゴールデンキングス」の試合観戦へ子ども達と保護者20名をご招待くださった。
- 大阪府遊技業組合連合会青年部会様が、12月23日(祝)に「第28回未来っ子カーニバル」へ子ども達と保護者50名をご招待くださいました。
- 大阪北ロータリークラブ様が、平成27年2月11日(祝)に「ユニバーサル・スタジオ・ジャパン」へ子ども達と保護者50名をご招待くださった。

一年を通じて多くのご招待をいただきありがとうございました。

以上